

第5回日進市一般廃棄物処理基本計画策定委員会運営部会

日 時 令和3年9月2日（木） 午前10時
 場 所 日進市役所 4階 第1会議室
 出席者 小林部会長、原副部会長、井上委員、松原委員、山内委員、水野委員
 欠席者
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 無
 次 第 1 あいさつ
 2 議題
 目標値及び施策について
 パブリックコメント資料（案）について
 3 その他

発 言 者	内 容
	1 あいさつ
事 務 局	（挨拶）
	（配布資料の確認）
事 務 局	本日の定員数について報告する。6名に対して6名の出席で、過半数を超えており、定足数を満たしている。原則公開となっている。
部 会 長	それでは、運営委員会を開始する。本日の傍聴者はいるか。
事 務 局	いません。
	2 議題 （1）目標値及び施策について
事 務 局	（資料1～5 事務局説明）
部 会 長	ここまでで、意見を伺う。資料1の目標値の値は、前回は、将来推計と理想値の中間値ですね。
事 務 局	中間値だ。
部 会 長	理想値が低い値になった。出し方を変えたことを、皆さんにご理解いただけないと思う。
副 部 会 長	前は、紙ごみのリサイクルは入っていなかったが、今回は入れた。それはなぜか。
事 務 局	前回、28年度の見直しの時に、5年間の中で、紙のリサイクルも進んでいる。その結果令和2年度の数値がでて、そこから今回令和3年度の理想値を算出したということ。
副 部 会 長	今までの紙ごみリサイクルの延長線上にあるから、前回は入れなかった。今回はそれを強化するという。そこを明確にしたほうがいい。今までやっていた、紙リサイクルの施策はそのまま続けるというのは今までの考えで、それを強化するので、かなりの削減量を見込めるという考えでいいか。

発 言 者	内 容
事 務 局	そうである。
事 務 局	5年間の中で、紙を収集してリサイクルをしてきた結果があるのであれば、令和2年度の実績値からの今回の目標値には、20%リサイクルされたことの効果が見込まれると思う。
副 部 会 長	今までの施策を続けた場合、紙ごみのリサイクルは、将来推計に今までのものが見込まれている。新しくやるということ。そう考えてよいか。
事 務 局	紙のリサイクルの方法は検討中であるが、回収してリサイクルを全くしないのであれば、修正は必要ない。施策を今後やっていくことを考えるのであれば、効果を考えていく必要はある。
副 部 会 長	理屈はわかったが、紙ごみをリサイクルして、減少される効果は、組成調査からみることになる。資料2-2でいくと、組成調査で、リサイクルできる紙の割合は、平成27年度に比べ、令和2年度はリサイクルできる紙の量は具体的にはどのくらい減ったのかという評価はしたのか。
事 務 局	できていない。
副 部 会 長	そうであると、評価の仕方だけだが、過去5年間の紙ごみリサイクルの効果の検証はしていない。それは検証したほうがいい。検証したうえで、やってきたが減っていない、見かけ上増えているような気がする。なので、強化をするというロジックになる。含まれているが、令和2年度の調査では、リサイクル紙ごみがあるので、施策を強化するというロジックだと思う。そこでは5年間の評価は見たほうがいい。見たところ、横ばいか増えているような気がする。キログラムにこだわったのは、評価したほうがいいということ。実際、リサイクルできる紙の絶対量が実際にどう動いていることを評価し、コロナの影響で増えている可能性もある。見直しの重要なことだと思う。きちんと定量的に見るべきだと思う。
部 会 長	今の意見に対して、どう思うか。
副 部 会 長	数値のチェックが必要だと思う。私の言ったことは、数値を変える必要性はないが、どうしてその数値にしたのかのロジックをしっかりとっておかないと、結構な削減の幅である。数値を変えろと言っているわけではない。5年間でやってこれなかったところを、5年間でやるという意思表示でもある。1人99グラムは結構な数値である。自分で出すごみの1割減らすという話である。すべての市民が1割減らすというのは難しい話になる。事務局はそのような提案をしている。
部 会 長	重要なところはそのようにしたほうがいい。こんなに低かったかと思った。計算の方法を変えている。
副 部 会 長	事業所は議論した。それを、新たに、市民1人当たりの家庭系ごみのところに乗つけたのが、大きな変更点である。それが、目標値の設定という意味では、ここで一番議論しないとイケない。
部 会 長	この値はいままではなかった。成り行きという姿勢であった。今まで通りであった。一般家庭からのリサイクル可能な紙リサイクルの削減がなかった。
副 部 会 長	なかったわけではなく、今までやってきたことを続けようではなく、今回、新たにやっていくという提案があったということ。

発 言 者	内 容
事 務 局	数値として、説明をすることとなる。紙を減らしていくという話は今までしてきましたが、どのくらい減らすことが可能なのかを示したが、市民にこれから協力をお願いしていく中で、あまり理想値だけで、現実から離れてしまってもいけないので、もう一度改めて、今までの流れを整理して、市民に説明ができるようにしていく。
副 部 会 長	結果についてはいいが、我々は今、初めて認識した。この提案は今日初めてあった提案なのか。
事 務 局	紙のリサイクルという内容は入っていて、紙のリサイクルは施策にあったが、削減効果ということで、数値を入れたのは初めてである。
副 部 会 長	数値の部分を入れたのは今回の資料が初めてか。
事 務 局	初めてである。
副 部 会 長	今日の目玉提案ということですね。
事 務 局	資料1のところに、その部分が入っていた。
部 会 長	今までの議論は、平成28年度の計画を見直すときに、20%リサイクルを想定して、目標値を設定していた。それが入っている。今回は現状を見て、それから20%減らす。いままでの実績に上乘せするという。先回の理想値344グラムが、前回は446グラムになっていた。上方修正されて、減らす方向にある。先回の値は、今日の資料のGの列の上から2番目のところ。その下の目標値の②-2も減っている。ここが紙のリサイクルを上乘せするというのでいいか。
委 員	理想値と目標値の考え方は、市民は目標値を目標にしてクリアできればいいのか。理想値は市が施策を出して、その半分を市民がやってもらえればいいということか。
事 務 局	理想値は、施策を行った中での最大値である。
委 員	市民は、半分をやってくれば、目標値に達するのでいいということか。
事 務 局	現実的なものとして、目標値として設定している。
委 員	目標値と理想値を両方出すのか。
事 務 局	今の計画も出ている。
委 員	企業としては、目標が2つあるのが変な感じがする。目標値があり、これに向かっていくという方が、市民としてはわかりやすいと思う。
委 員	目標値を市民が達成できるようにということで、理想値は、さらにできる人はこれを目指してという感じだと思う。目標値と理想値には、あまりこだわらない。
部 会 長	基本計画のところに、それを丁寧に書いて、現実的に達成可能なものが目標値として、もう少しわかりやすく書いて欲しい。
副 部 会 長	理想値という言葉がよくないかもしれない。
事 務 局	丁寧な説明をしていく。表記の仕方も検討する。
部 会 長	一緒ではないかという話もある。
事 務 局	伝え方の度合いがわかるようにしていく。
副 部 会 長	最大値などもいいのでは。
委 員	市民が目標に対して、クリアしないとどうなるのか、ごみ袋代が3倍になるなどの、ペナルティではないが、税金があがるなど、それがないと、数値だけ出てもどうなの

発 言 者	内 容
	か。目標は個人的にはいいと思う。ちょっと頑張らないとできない目標である。前回の目標は頑張らないといけないものであった。意識の問題と、半分は生ごみなので、乾燥してもらおうとかなり減ってくると思うが、やってもらえる人は少ない。もう一つはインフラの整備。エコドームのような施設が豊田市にはたくさんある。もっといっぱいあると、リサイクルも増えるのではないか。市としてインフラの整備も行ってもらえれば、目標達成もできると思う。
委 員	理想値と目標値はわかりにくいと思いつつ、理想値は市民の方が、頑張ってやっに行けばそのくらいの数値になるということだと思いが、なかなかできないので、目標を少し緩めてやっていくということ。がちがちにやればできる数値を持っていて、そこまでやらなくてもいいというやり方を、市民に十分説明するとやってもらえるのではないか。伝え方をうまくやれば、2つの数値は意味のあるものだと思う。
部 会 長	数値の大幅な変更についてはどうか。
委 員	紙ごみがリサイクルされているので、数値が減ったことの数値だと思う。そこから目標値がさらに減るということは、いままで以上に搾り取ることを市民に伝えないといけないので、どうすればよいか。今までは紙を減らせばいいという感覚であったが、すでに紙を減らすことができているということなので、何をしていけばいいか。数値はいいものだが、どのように話をしていけばいいの不安に思っている。
副 部 会 長	それは大丈夫だと思う。資料2-2を見ると、令和2年度の実績は、27年度と比較すると、リサイクルできる量は減っていない。もしくは増えている可能性はある。事務局に確認をお願いしたが、今までの成り行きを減らすという声掛けでは減っていないと思われるので、だから強化するというところで考えたほうが良いと思っている。
委 員	そのような提案はできると思うので、進めていきたいと思う。
部 会 長	数値についてはよいか。
委 員	大体納得できました。
副 部 会 長	新しい追加の削減効果ですが、令和2年度の実績値だけでやっている。組成調査だけでやっている。そこが若干気にはなっている。過去5年間の平均値を使う、傾向があれば、5年間の見直しなのでどうかと思うところもあるが、若干不安がある。トレンドをだしてもらい、リサイクルできる紙ゴミの量を示してもらった上で、想像であるが過去そんなに変わってなく、令和2年度だけ飛び出しているのではと社会情勢を考えるとそう思っている。おうち時間が増えているので、新しい情勢に対応するためにということが、大事だと思う。そのチェックもお願いしたい。ここは大きいので、調べて検討する必要はあると思う。事務局で精査をしてもらいたい。資料1の目標の話で、気になるところがあり、リサイクル率の向上の部分。これは、理想値の作り方はこれでいいのかと思っている。全部把握できるのか。リサイクルの量は市では現実問題、全部把握できない。私もスーパーに持って行ってしまおう。それは、市役所にはカウントされない。そのようなことはすごくあると思う。それが下がっている理由にもあると思う。それは市民の努力ではない。そこを目標値にするのはいかなものか。正確に市民の努力が反映されない。これを使うということに対して、非常に違和感が

発 言 者	内 容
	ある。統計は、愛知県に統計を出すためのものなのか。
事 務 局	市で把握できている数値である。
副 部 会 長	愛知県に出して戻してもらっている。そういう数値はどうなのか。独自で調査するのであればいいが、実際にはそうあるべきだが、それはできますか。過去をさかのぼっても難しいと思う。そのことを考えたときに、このリサイクル率を目標とすることはどうなのか。極端な言い方をすると、参考値として、なくしてもいいのではという意見である。
事 務 局	現状の、市が把握できる参考数値としてということか。市内で回収されているものがあればということだが、注意書きは必要だと思う。
副 部 会 長	注意書きは必要であるし、目標値として載せるのはどうなのかと思う。
事 務 局	市民が本当にリサイクルしているのかがわからない。
副 部 会 長	実際にはなっていない。その数値を見せて、リサイクルをしてくださいというのは違うのではないか。リサイクル率は数値上下がっている。どう評価しているのかが書かれていない。それはどういうことか。我々の努力がたりないということか。そうではないということを説明する必要がある。目標値としての取り扱い方も違うと思う。
部 会 長	ご意見に関しては、たびたび議論になっているが、初期の目標値であるので、そのままということであった。現実をみて、目標値から外してもという意見である。一方リサイクルは進めてほしいということはあるので、リサイクルの項目を外すわけにはいかない。今までのリサイクル率の数値は参考にしても、そのほかの項目を入れていかないといけない。それをどうするのか。組成調査の中で、リサイクル可能なものがなくなれば、リサイクル率100%になる。リサイクル可能な量の割合を減らしていくというのが現実的である。何か行動が数値でわかるようなものがほしい。量ではフォローできないので、市が回収した量は修正できないので、変わるものがなにかないか。
事 務 局	リサイクル率の項目は、見直しということで外すかどうかは検討するが、次回の総見直しについては、見直しをして次回はどうなるかを検討して、今回、表記をどうするかを考えていく。次回に検討すべきということは残していきたい。
部 会 長	今の意見は、そうだと思うが、思い切って外すこともありだと思う。数値はフォローできる。これだけ状況が変わってきた中で、市民に出すとなると、どうなのかと思う。
副 部 会 長	現実には、市で発生しているリサイクルの資源量がつかめていない。
部 会 長	統計が取れないものであれば、続けていくということは難しいと思うので、思い切って判断することもいいのではと思う。5年の方針としては、この数値を使うことを外してもいいのではと思う。
副 部 会 長	この実績値は、市が把握しているリサイクル量で計算した割合ですね。愛知県全体での集計したものは、民間のものを含めたものも出るのか。
事 務 局	自治体によっては出るところはあるが、一概には言えない。日進市の一部は入っている。
副 部 会 長	統計上の不備をそのまま使ってリサイクル率を出している。リサイクル率の分子

発 言 者	内 容
	は、資源回収した量だと思うが、分母は全回収量ですか。一般廃棄物量のうち、資源回収したのですか。民間も多少は入っていますか。
事 務 局	報告されたものは入っている。
副 部 会 長	市が取り扱った一般廃棄物のうち、資源回収されたものですね。リサイクル率という言葉自体もどうなのかと思う。
事 務 局	市の全体量となる。市民のリサイクルに対する意識の向上として、違うものが出せるようであれば、少し違ってくると思う。
副 部 会 長	提案であるが、ひとつの指標としての率ではなく、市民1人当たりの資源回収量がどのくらいというものではないか。
部 会 長	それはフォローできない。
副 部 会 長	取り扱ったということ。
部 会 長	行動と数値が結びつかない。
副 部 会 長	結びつかないのであれば意味がないのではないか。
部 会 長	今の方法では、難しい。
副 部 会 長	資源回収量は統計としては意味がある。市としては意味がある。リサイクルを呼びかける数値であると、あまり意味がない。リサイクル率という指標を目標にするのは違うのではないかという話になる。
部 会 長	目標値及び行動など数値ではないもの、リサイクル活動の促進など、行動で作るということもあり得ると思う。
副 部 会 長	そのほうがいいと思う。
部 会 長	リサイクル率の向上を外すと、どのような行動を取るべきかが外れてしまうので、それはできない。数値と項目を一緒にして示すということはできると思うし、伝わると思う。
副 部 会 長	数値の代わりに、より一層のリサイクル活動の促進という目標があってもいいのではないか。紙のリサイクルをはじめとして、行動の促進というものが目標にあってもいいのではないか。無理に数値にしなくてもいい。
事 務 局	達成状況をどのように示すか。
副 部 会 長	1つの方法としては、一般廃棄物の中の、リサイクル可能率、混ざっていない状態を目指すというのはありだと思う。
部 会 長	率をかけると量になる。
副 部 会 長	混入している資源量の数値はでる。理論的には出る。その量を減らすという目標値はありで、現実的だと思う。
部 会 長	難しいところだが、数値は出ている。行動目標のような、数値ではないもので示すことはできるが、それを示さないといけない。数値から外すかということは次のところで意見をいただきたい。
事 務 局	数値にこだわるものではなく、行動につなげていく話だと思う。市民の意識は向上しているので、数値で示すよりも行動の仕方を提案させていただく。官民関係なく示していければと思う。

発 言 者	内 容
部 会 長	次の時に、提案できればいい。それを皆さんで決めるということではいかか。今日決めることはできないと思う。
事 務 局	回数多く組成調査をして、ある程度混在率が比較できるのが一番いいが、今は難しい。
副 部 会 長	現実、そういうことだと思う。
事 務 局	今回は、提案できるようにしていく。
部 会 長	プラスチックリサイクル法が改正された。その中で言われているのは、プラの廃棄物排出量、再資源化、プラスチックごみの自主回収、再資源化などが言われている。これが、世の中そうだという意見が強くなって、使わない、リサイクルしようとしてもわからない、事業者は提供しない。分別回収とあるが、分別回収を強化することは、入っていないのか。行動目標に入っていない。
事 務 局	資料3の中で、プラスチックのリサイクルを追加させてもらっている。今回、目標値にも入れ込んでいる。
部 会 長	硬質プラスチックから発生しているのか。去年の組成調査で、4.81%の割合があるが、これは硬質プラスチックは入っているのか。
事 務 局	これは入っていない。
部 会 長	一見入っているように見えて、入っていない。リサイクルマークがついているものはしっかりリサイクルするように言えるが、非現実的である。5%近くあるので、それを回収する、よりわかりやすい。これだけ漏れているのだから、計算に入っていないと、訴え方を考えると、硬質プラスチックを一生懸命回収することが現実的だと思う。中間処理に4,000万の半分がかかっている。硬質プラはどうなのか。わからないのか。4.8%が入っていないのが1つと、進めていくためには、わかりやすい方針を示す。
委 員	硬質プラスチックなどバケツなどは、分別して回収しないと施設の整備をしていくときに交付金がおらない。ごみ袋15円に市は有料ということで金額が上乗せしている。豊明市は、手数料だけで、そこに上乗せしないと交付金が出ない。6月に法律が交付されたので、1年で行って、資料を提出するときに項目の分別が書いていないと、交付金がもらえない。地域計画に分別の項目が入っていないと、交付金の対象にはならない。市には、硬質プラも集めてもらわないと、施設整備にも問題が出てきてしまう。その部分も入れてもらわないと、硬質プラも削減と書かないと、この計画には書いていないのかと言われてしまうので、入れておいてほしい。
部 会 長	入れないといけない。
副 部 会 長	確認の質問ですが、資料2-2の組成調査で、上記以外の4.81%を回収すべきという話ですか。
部 会 長	それが算定に入っていない。
副 部 会 長	その下の0.78%が硬質プラスチックということですね。両方とも回収しないといけないのか。
事 務 局	全部回収である。

発 言 者	内 容
副 部 会 長	全部回収して、その先のことはわかるのですね。今、硬質プラは可燃ごみにいれていいとなっている。それを変えないといけない。今は可燃ごみに放り込んでいるが、プラごみで回収をしたいということか。
事 務 局	具体的な方法は決めていない。
副 部 会 長	今は、燃えないゴミはないので、プラごみにいれるか、可燃ごみに入れるのか、どちらかにいれるしかない。事務側にとっては大きな変更になる。きちんとシステムを組んで、可燃ごみからはずしていく。それは、算定しないといけない。
部 会 長	今はまとめて回収して、中間業者に硬質プラを分けてもらっているのか。硬質プラを抜いて、センターで処理をしている。基本は、そこにいれてはいけない。
副 部 会 長	容器包装のみ。どうにかしないとイケないのではないかな。
部 会 長	きちんと入れないとイケない。
事 務 局	国からの方針が出てくる予定だが、まだ出てきていないので、各市町村どうしていくべきか、保留になっているのが現状である
部 会 長	回収したあとの方法であって、回収しないとイケないのは決まっているので、その内容はいれていかないとイケない。義務である。100%と言わないといけない。ペットボトルはほぼ100%回収されている。プラもそうしないとイケない。がらっと変えないといけない。この考え方を計画の中に入れないとイケない。プラを100%達成しないとイケないことを市民にいついかなないとイケない。
副 部 会 長	基本的にそうだと思う。ここに載っていないといけない。
部 会 長	法律でそうなったのだから、考え方として伝えないとイケないと思う。
副 部 会 長	0と要求されている。削減ではない。目標としては動かせない。施策の中に、法律で禁止になったので、回収するという書き方をしないとイケない。施策の改定で今後回収をしていくが、方法についてはお待ちくださいという内容になると思う。
部 会 長	法律では100%達成しなさいということである。
委 員	プラは法律に基づいてもらえれば、非常に市民としては出しやすい。プラは100%、あとは紙に対してである。今までの20%はクリアできるのではないかな。
委 員	リサイクルは必要なので、項目から外さないほうがいいが、リサイクルはたくさんあるので、全部一緒となるのは難しい。やることがどんどん増えてくる、項目を分けると増えるので、リサイクル率の向上は、一般はわからない。
部 会 長	行動目標であればわかりやすいと思う。
委 員	あまり具体的に書くと、項目が増えるのではないかな。リサイクル率の向上だけでは市民は、わかりづらい。リサイクルは市民の意識は高いと思うが、リサイクル率の向上は何のことなのかわかりづらい。
委 員	リサイクル率は、ざっくりと組成調査で出てくる、新聞紙等などのリサイクルできるものの合計が%と思っていたが、違うということで、わかりにくい。組成調査の結果で中身が出てくる場所の%を出してそこが減ったということにするとわかりやすいのではないかな。その中で、プラの話があったが、資料2-2をみると、飲料、食料のプラまでが、そのたぐいだと思うが、上記以外のプラ容器を含めると6~7%近くに

発 言 者	内 容
	なっている。組成調査で出していくと、600トンくらいになる。それを頑張るだけで減ると思う。上記以外のプラ容器包装は、上の生ごみなども絡んできて、生ごみを入れるのに、ビニール袋に入れたり、汚れたプラの容器はそのまま捨ててしまい、リサイクルに不向きなものが多い。それを出せる仕組みづくりをして、4.81%減っていくと、市民にも目標としてはわかりやすいと思う。白トレイ、発泡スチロールについては、品目が多すぎるので、これは、リサイクルできるプラだけでいいのではと思う。細かくやるよりも、まとめたほうがいいのではと思う。
部 会 長	回収するには、ポスターも貼る。人出もかかることである。
事 務 局	プラの改定の話だが、新しい施設も考えていて、組合の計画も来年、予定をしている。構成市町の策定をしていくが、集まったものができる。統一されたものにしていかないといけないが、3市町で方向性を調整していきたいと思う。日進が進んでいたが、法律が改正されたことで、他の市町もやっていると出来ないといけない。一番問題なのはコストがかかる。国がどこまで支援してくれるのか。事業者と情報交換をしているところである。
委 員	総理大臣が、カーボンニュートラルでCO2を減らすと言っている。プラを燃やすとCO2の数値が高い。CO2の削減のために、プラを燃やすなどということで、リサイクルするという話になっている。東京は燃料にするということで燃やしているがそれを認めないということでどうすればいいかが決まっていなく、法律が進んで、燃やすなどということだけが決まってしまうっており、どうすればいいのかが困っている。集めることは決まっている。
部 会 長	硬質プラを、可燃ごみでいいということではできないということ。
事 務 局	どのような回収方法するか、どのような袋で回収するか、課題は集め方だと思っている。
部 会 長	それでは、議論の半ばですが、決められるのは紙のリサイクルの量、現状から回収可能なものから20%リサイクルするという目標を入れる。今回、出した344、389の値を用いる。それを共にして設定する。紙についてはそれでいいか。プラスチックについては、考えていただきますが、今日は触らずに、紙のリサイクル量の数値を入れるということでよろしいでしょうか。
	2 議題 (1) 目標値及び施策について
事 務 局	(資料6について事務局説明)
副 部 会 長	これは、概要版は作らないのか。
事 務 局	パブコメはこれだけである。最終は概要版を作成する。
副 部 会 長	何を見直したかがわからないといけない。紙リサイクルを強化するなど、大事な話は、パブコメに求めないといけないと思う。
部 会 長	何が変わって、現状を見て、反省をして、何を变えていくかが必要だと思う。
副 部 会 長	それを作ってもらって、結果として計画書は示さないといけない。
部 会 長	これを見て全部を理解しろというのは難しいと思う。

発 言 者	内 容
事 務 局	全体と、変更点がわかるようにする。
副 部 会 長	変更点はA41枚でいい。1枚では難しいかもしれないが、パッと見てわかるようなものにすればよい。
事 務 局	変更したところと、その理由とポイントを整理する。
事 務 局	(事務局説明)
部 会 長	委員から修正してもらいたいものについて説明をお願いします。
委 員	日進市におけるごみ処理の流れがあるが、前作った時は、アルミ缶などは、市が集めて、うちが回収してからプレスして業者に渡していたが、このような流れが今は変わってきているので、変更して欲しい。市が直接業者をお願いをしている。
部 会 長	誤字脱字と課は別にして、他のところは修正する。
委 員	5ページの家庭ごみの量も、日進市の年間のごみ量が出ているが、若干違っているとこともあるので、注意書きを入れて、このごみは何かをいれて欲しい。11ページ、うちのことが書いてあり、前の古いデータが残っているので、今にあったものに変えてほしい。28ページ、今後5年間の重点も、同じようなことが書いているので、もう少し事業系ごみのボリュームを増やしてほしい。
副 部 会 長	見直しの背景と趣旨が、いままでの議論で、課題が浮き彫りになり、社会的情勢が変わってきた内容に書き直さないといけない。リサイクル率の向上はなぜ必要かなどを検討していただかないといけない。7ページ、市民はアンケートからとった、行政としてやるべきことがあるが、事業者の考えで、「意見が出た」となっているが、これは委員会で出た意見だと思う。表現を注意しないとイケない。本来、アンケートを取るべきであるが、総合計画の方で、事業者へのアンケート調査結果はないか。「このような意見もある」という書き方で、全部代用するのではなく、循環型形成社会の考えもあるので、「このような意見がある」という書き方をしないとイケないと思う。リサイクル率の向上についても、本当にやってほしいものは何か、まずは必要だと思う。
委 員	1ページ、令和3年度、再度アンケートとなっているが、今年度またとるのか。
事 務 局	今年度は実施しない。誤解のないようにする。
委 員	最初にあった、びんについては、弊社でリサイクルを行っている。びんの用途としては、グラスウールのリサイクル、人工大理石のリサイクルも行っている。18ページの目標値の設定があるが、理想値がわかりにくいという話があったが、円グラフを見るとわかりやすいと思う。市民もわかりやすいのではないかなと思う。
部 会 長	目次のところの第2部の5～9が浮いている。見直しの基本方針にして欲しいのですが、ごみ処理基本計画の中の、回収方法、処理の方法など、計画の中の1つであるとわかるようにしたほうがいいと思う。違和感がある。わかりにくいので、5から9はまとめたものにしたほうがいいのではと思う。見直して、最後の5年をこうしていくという内容にしたほうがいいと思う。計画の一部であるということをお知らせしてほしい。24ページ、概念の図があるが、廃棄とあるが、わかりづらいので、検討してほしい。
副 部 会 長	構成で、「目標」という言葉として、第2部が出てこない。目標がどこに記載されているかがわからない。4の基本計画の中に入っている。章立てがわかりにくい。資

発 言 者	内 容
	源化、役割などは、実施内容であるので、その意味で章立てを見直してほしい。目次しか見ない人がある。
部 会 長	予定の時間が過ぎているので、今日の議論はこのあたりで終了したいと思う。
	3 その他
事 務 局	(次回の予定、10月11日に会議を実施)
部 会 長	今日はこれで終了する。
	閉会